



亜熱帯の密林に舞う2匹のクロテンシロチョウ 2014年10月31日 沖縄県与那国島 写真／高崎 明

## CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力**  
日野春のゴマシジミ
  - 04 失われたチョウたち**  
愛媛県のオオウラギンヒョウモン
  - 10 ウスバシロチョウが消えた**  
シカ害の現場からの報告・前編
  - 18 Action for Butterflies**  
ツシマウラボシシジミ  
庭のチョウ類調査－2014年の調査結果
  - 23 保全活動レポート**  
ギフチョウ／岐阜県  
ゴマシジミ／宮崎県
  - 24 イベントの報告**
- 
- 16 お知らせ**

# チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY  
CONSERVATION SOCIETY  
NEWSLETTER NO.20

日本チョウ類保全協会 会誌20号

表紙：フジミドリシジミ



幼虫がブナの葉を食べる、深い森のチョウ。近年になって、成虫が朝に下草上に舞い降りて朝露を吸う習性が知られるようになり、本誌13号で工藤誠也氏によって紹介されている。舞い降りる場所を探し続けて数年が過ぎたが、ブナの葉がすっかり深い緑色になった初夏の朝、小さな谷間で淡い水色の翅を輝かせ、水分を吸う姿にようやく出会えた。減りゆくチョウの調査や対策に走り回る合間の、心休まるひとときとなった。

山形県鶴岡市 2015年5月

写真・文／永幡嘉之